

平成26年三重県消費者物価指数の動向

1 概要

三重県…平成26年平均の三重県消費者物価指数は、平成22年を100とした総合指数で103.2となり、前年に比べ2.6%の上昇でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は104.0で、前年に比べ3.1%の上昇でした。

全 国…平成26年平均の全国消費者物価指数は、平成22年を100とした総合指数で102.8となり、前年に比べ2.7%の上昇でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は103.6で、前年に比べ3.3%の上昇でした。

平成15年からの三重県消費者物価指数の動きを総合指数でみると、平成18年から平成20年までは毎年上昇し、平成21年から平成22年までは下落しました。平成23年から平成26年は毎年上昇しました。(図1、表1、統計表第1表)

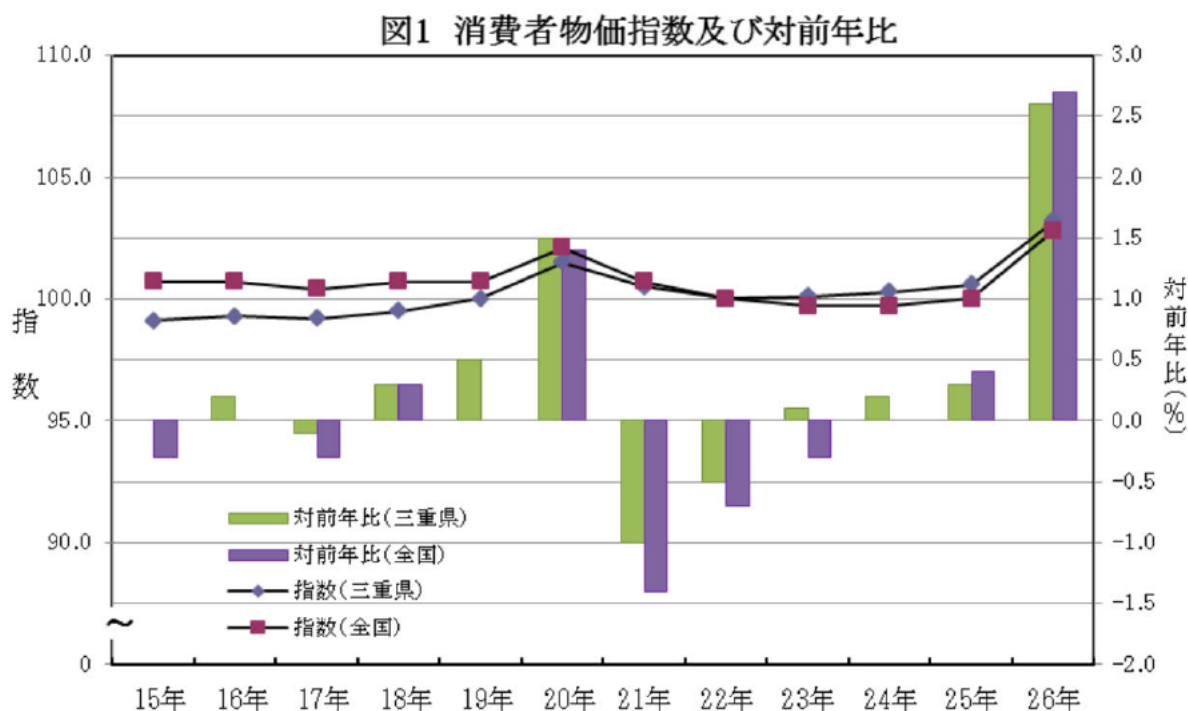


表1 総合指数と対前年比の推移

	三重県				全国				平成22年 100								
	総 合	対前年比 (%)	総 合 (※)	対前年比 (%)	総 合	対前年比 (%)	総 合 (※)	対前年比 (%)	総 合	対前年比 (%)	総 合 (※)	対前年比 (%)					
平成15年	99.1	0.0	99.6	-0.2	100.7	-0.3	100.7	-0.3	平成21年	100.5	-1.0	100.5	-1.4	100.7	-1.4	100.8	-1.5
平成16年	99.3	0.2	99.6	0.0	100.7	0.0	100.7	0.0	平成22年	100.0	-0.5	100.0	-0.5	100.0	-0.7	100.0	-0.8
平成17年	99.2	-0.1	99.4	-0.2	100.4	-0.3	100.3	-0.4	平成23年	100.1	0.1	100.1	0.1	99.7	-0.3	99.7	-0.3
平成18年	99.5	0.3	99.7	0.3	100.7	0.3	100.6	0.3	平成24年	100.3	0.2	100.4	0.2	99.7	0.0	99.7	0.0
平成19年	100.0	0.5	100.1	0.4	100.7	0.0	100.7	0.1	平成25年	100.6	0.3	100.8	0.4	100.0	0.4	100.2	0.5
平成20年	101.5	1.5	101.9	1.8	102.1	1.4	102.3	1.6	平成26年	103.2	2.6	104.0	3.1	102.8	2.7	103.6	3.3

※ 持家の帰属家賃を除く総合：持家の帰属家賃は、持家の住宅を借家とみなした場合に支払われるであろう家賃を推計したもので、

実際の市場価格ではないので、特にこれを除外した「持家の帰属家賃を除く総合指数」を示しています。

2 年間の動き

平成26年における三重県消費者物価の総合指数の動きについて、月別に対前月比及び対前年同月比をみると、次のとおりでした。(表2、表3、図2、統計表第2表)

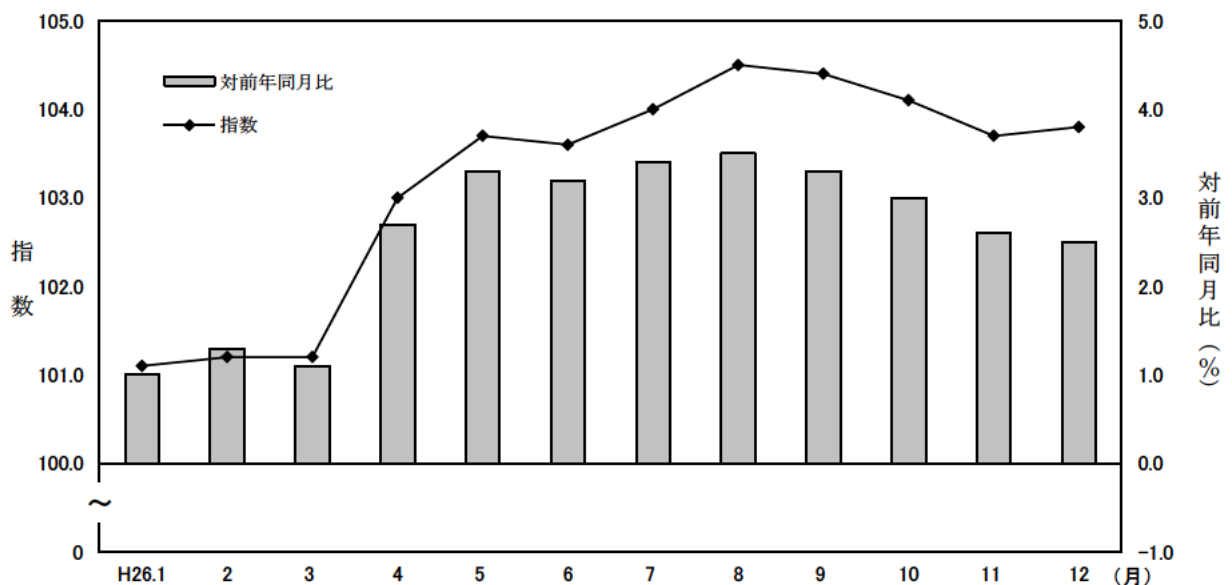
表2 三重県の総合指数・対前月比と主な変動費目

月	総合指数 (対前月比 (%))	上昇した 主な費目 (対前月比)		下落した 主な費目 (対前月比)		(参考)		
						全国総合指数 (対前月比 (%))	持家の帰属家賃を 除く総合 (対前月比(%))	
							三重県	全国
1月	101.1 (-0.1)	家庭用耐久財 12.5% 果物 4.9% 補習教育 4.5%	他の被服類 -6.1% 保健医療用品・器具 -4.2% 教養娯楽サービス -2.5%	100.7 (-0.2)	101.4 (-0.1)	101.0 (-0.2)		
2月	101.2 (0.1)	他の被服類 2.5% 家庭用耐久財 2.2% 教養娯楽用耐久財 2.1%	野菜・海藻 -3.6% 果物 -1.9% 設備修繕・維持 -1.0% 寝具類 -1.0% 履物類 -1.0%	100.7 (0.0)	101.6 (0.1)	101.1 (0.0)		
3月	101.2 (-0.1)	他の被服類 3.6% 教養娯楽用耐久財 3.4% 身の回り用品 2.6%	補習教育 -4.5% 果物 -4.1% 菓子類 -1.8%	101.0 (0.3)	101.5 (-0.1)	101.4 (0.3)		
4月	103.0 (1.9)	交通 8.5% 医薬品・健康保持用摂取品 5.0% 魚介類 4.6% 理美容用品 4.6%	果物 -3.7% 履物類 -2.8% 被服関連サービス -1.1%	103.1 (2.1)	103.8 (2.3)	103.9 (2.5)		
5月	103.7 (0.6)	電気代 10.3% 果物 8.0% 他の被服類 3.2%	家庭用耐久財 -4.1% 教養娯楽用耐久財 -1.7% 飲料 -1.6% 身の回り用品 -1.6%	103.5 (0.4)	104.5 (0.7)	104.4 (0.4)		
6月	103.6 (0.0)	ガス代 1.6% 魚介類 0.8% 調理食品 0.7% 他の光熱 0.7% 自動車等関係費 0.7%	果物 -3.5% 家庭用耐久財 -3.2% 保健医療用品・器具 -3.2% 他の被服類 -2.1%	103.4 (-0.1)	104.5 (0.0)	104.3 (-0.1)		
7月	104.0 (0.4)	教養娯楽用耐久財 13.6% 調理食品 2.0% 交通 2.0% 教養娯楽サービス 1.7%	家事用消耗品 -5.1% 果物 -5.0% シャツ・セーター・下着類 -3.6%	103.4 (0.0)	105.0 (0.4)	104.3 (0.1)		
8月	104.5 (0.4)	家事雑貨 5.0% 教養娯楽サービス 5.0% 室内装備品 4.0% 魚介類 3.2%	シャツ・セーター・下着類 -3.8% 教養娯楽用耐久財 -2.1% 飲料 -1.8%	103.7 (0.2)	105.5 (0.5)	104.6 (0.2)		
9月	104.4 (-0.1)	野菜・海藻 11.4% シャツ・セーター・下着類 6.9% 他の被服類 2.1%	教養娯楽サービス -4.4% 果物 -4.2% 家庭用耐久財 -3.5%	103.9 (0.2)	105.4 (-0.1)	104.9 (0.3)		
10月	104.1 (-0.2)	寝具類 7.1% 家事用消耗品 3.5% 他の被服類 3.4%	野菜・海藻 -8.4% 果物 -7.3% 他の光熱 -2.3%	103.6 (-0.3)	105.1 (-0.2)	104.5 (-0.3)		
11月	103.7 (-0.5)	他の被服類 3.7% シャツ・セーター・下着類 1.7% 教養娯楽用品 1.2%	野菜・海藻 -8.0% 家庭用耐久財 -5.3% 他の光熱 -4.4%	103.2 (-0.4)	104.5 (-0.5)	104.1 (-0.5)		
12月	103.8 (0.1)	果物 13.4% 家庭用耐久財 5.9% 身の回り用品 3.7%	他の光熱 -4.5% 寝具類 -4.1% 他の被服類 -3.5%	103.3 (0.1)	104.7 (0.2)	104.2 (0.1)		

表3 三重県の総合指数・対前年同月比と主な変動費目

月	総合指数 (対前年同月比 (%))	上昇した 主な費目 (対前年同月比)		下落した 主な費目 (対前年同月比)		(参考)		
						全国総合指数 (対前年同月比 (%))	持家の帰属家賃を 除く総合 (対前年同月比 (%))	
							三重県	全国
1月	101.1 (1.0)	寝具類 身の回り用品 他の諸雑費	10.1% 6.9% 6.7%	室内装備品 教養娯楽用耐久財 穀類	-5.3% -4.9% -3.7%	100.7 (1.4)	101.4 (1.2)	101.0 (1.7)
2月	101.2 (1.3)	寝具類 果物 魚介類	9.8% 7.7% 7.0%	教養娯楽用耐久財 室内装備品 穀類	-6.5% -5.3% -3.5%	100.7 (1.5)	101.6 (1.6)	101.1 (1.9)
3月	101.2 (1.1)	寝具類 肉類 家庭用耐久財	9.7% 8.5% 7.7%	穀類 保健医療用品・器具 飲料	-3.1% -2.9% -2.4%	101.0 (1.6)	101.5 (1.4)	101.4 (2.0)
4月	103.0 (2.7)	寝具類 魚介類 肉類 交通	11.5% 9.8% 8.9% 8.9%	家賃 履物類 被服関連サービス 穀類 室内装備品	-0.9% -0.9% -0.9% -0.6% -0.1%	103.1 (3.4)	103.8 (3.3)	103.9 (4.1)
5月	103.7 (3.3)	電気代 果物 他の光熱	14.1% 12.5% 10.8%	教養娯楽用耐久財 被服関連サービス 履物類	-4.1% -0.9% -0.8%	103.5 (3.7)	104.5 (4.0)	104.4 (4.4)
6月	103.6 (3.2)	電気代 他の光熱 果物	12.7% 11.1% 10.6%	保健医療用品・器具 穀類 被服関連サービス 家賃	-3.0% -0.9% -0.9% -0.7%	103.4 (3.6)	104.5 (3.8)	104.3 (4.4)
7月	104.0 (3.4)	教養娯楽用耐久財 肉類 電気代	12.3% 11.6% 11.3%	保健医療用品・器具 履物類 被服関連サービス	-3.5% -1.4% -0.9%	103.4 (3.4)	105.0 (4.1)	104.3 (4.1)
8月	104.5 (3.5)	教養娯楽用耐久財 魚介類 肉類	12.7% 12.2% 10.7%	保健医療用品・器具 シャツ・セーター・下着類 穀類	-3.5% -2.4% -2.1%	103.7 (3.3)	105.5 (4.3)	104.6 (4.0)
9月	104.4 (3.3)	野菜・海藻 果物 教養娯楽用耐久財	14.8% 12.6% 11.9%	保健医療用品・器具 家事用消耗品 穀類	-2.3% -1.4% -1.2%	103.9 (3.2)	105.4 (4.1)	104.9 (3.9)
10月	104.1 (3.0)	教養娯楽用耐久財 交通 肉類	12.6% 10.6% 9.7%	保健医療用品・器具 穀類 被服関連サービス	-1.9% -1.5% -0.9%	103.6 (2.9)	105.1 (3.7)	104.5 (3.4)
11月	103.7 (2.6)	交通 寝具類 肉類	10.7% 9.8% 9.5%	野菜・海藻 果物 保健医療用品・器具	-5.4% -4.6% -2.3%	103.2 (2.4)	104.5 (3.2)	104.1 (2.9)
12月	103.8 (2.5)	魚介類 交通 肉類	11.1% 10.7% 9.8%	果物 他の光熱 野菜・海藻	-5.9% -4.5% -3.2%	103.3 (2.4)	104.7 (3.1)	104.2 (2.9)

図2 月別の動向 平成22年=100



3 費目別指数の動き

平成26年平均の三重県消費者物価指数は、光熱・水道をはじめとしてほとんどの費目で上昇し、全体では前年に比べ2.6%の上昇となりました。10大費目別に前年と比較すると、住居のみが下落し、他の食料、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教育、教養娯楽、諸雑費が上昇しました。(表4、図4)

(1) 食料

食料は 104.4 となり、前年に比べ 3.4%の上昇でした。内訳をみると、前年に比べ上昇したのは、魚介類が 8.8%、肉類が 9.2%、乳卵類が 4.7%、野菜・海藻が 4.0%、果物が 4.6%、油脂・調味料が 2.0%、菓子類が 3.8%、調理食品が 2.8%、酒類 2.1%、外食が 2.1%でした。

一方、下落したのは、穀類が 1.6%、飲料が 0.2%でした。

生鮮食品についてみると、生鮮魚介は年平均が 113.0 となり、対前年比は 9.7%の上昇でした。

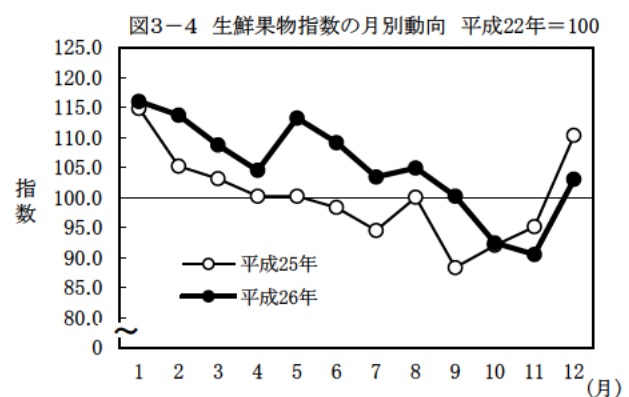
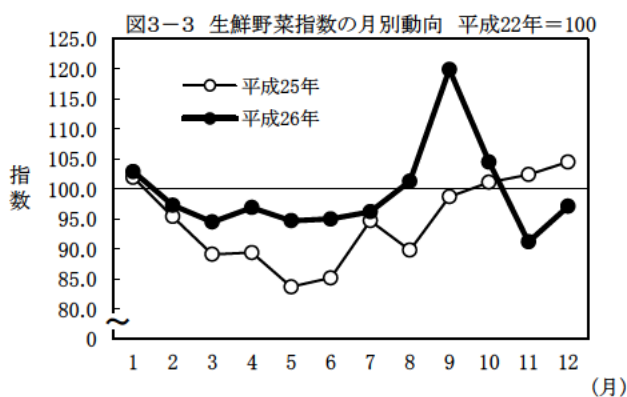
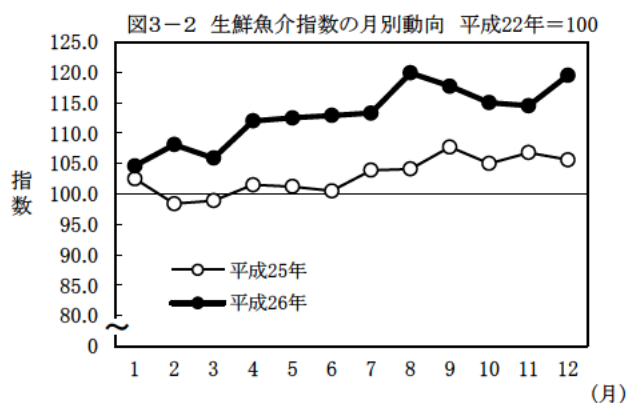
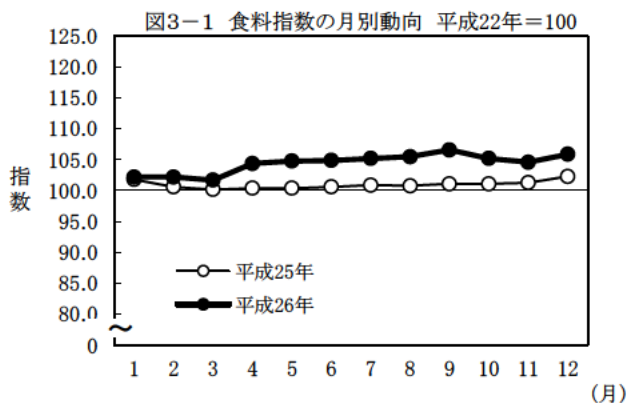
生鮮野菜は、99.3 となり、対前年比は 4.9%の上昇でした。

生鮮果物は、105.0 となり、対前年比は 4.8%の上昇でした。

表4-1 食料の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成25年平均	平成26年平均	平成26年平均
食料	101.0	104.4	3.4
穀類	101.8	100.2	-1.6
魚介類	102.9	111.9	8.8
生鮮魚介	103.0	113.0	9.7
肉類	106.0	115.7	9.2
乳卵類	102.4	107.2	4.7
野菜・海藻	98.1	102.0	4.0
生鮮野菜	94.7	99.3	4.9
果物	100.2	104.9	4.6
生鮮果物	100.2	105.0	4.8
油脂・調味料	99.0	101.0	2.0
菓子類	100.7	104.5	3.8
調理食品	104.6	107.6	2.8
飲料	99.1	98.9	-0.2
酒類	96.3	98.3	2.1
外食	99.3	101.3	2.1



(2) 住居

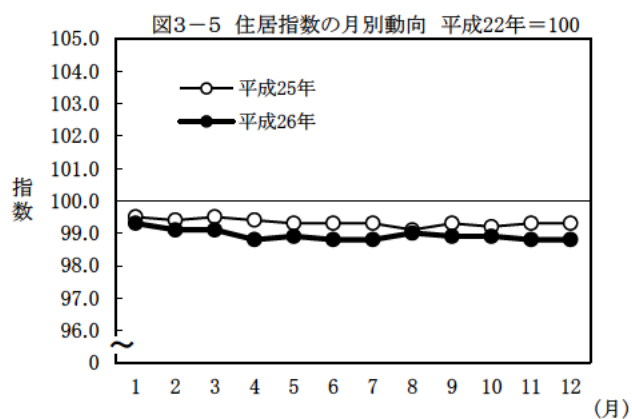
住居は 98.9 となり、前年に比べ 0.4% の下落でした。

内訳をみると、家賃が 0.7% の下落、設備修繕・維持が 1.4% の上昇でした。

表 4-2 住居の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比 (%)
	平成25年平均	平成26年平均	
住居	99.3	98.9	-0.4
持家の帰属家賃を除く住居	98.8	98.9	0.1
家賃	99.3	98.7	-0.7
持家の帰属家賃を除く家賃	98.2	96.4	-1.8
設備修繕・維持	99.4	100.8	1.4



(3) 光熱・水道

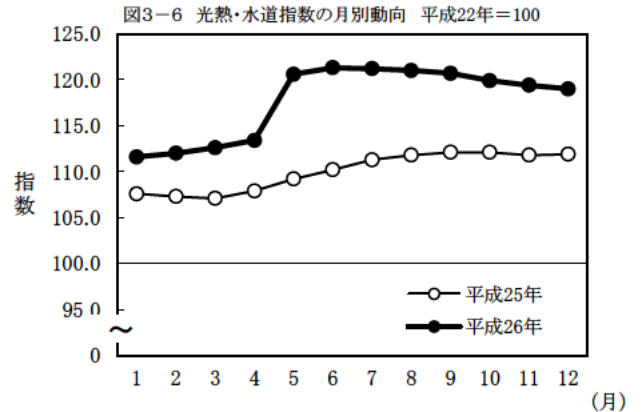
光熱・水道は117.7となり、前年に比べ7.0%の上昇でした。

内訳をみると、電気代が9.0%の上昇、ガス代が6.8%の上昇、他の光熱（灯油）が5.3%の上昇、上下水道料が2.7%の上昇でした。

表4-3 光熱・水道の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成25年平均	平成26年平均	
光熱・水道	110.0	117.7	7.0
電気代	112.7	122.8	9.0
ガス代	107.2	114.5	6.8
他の光熱	131.4	138.4	5.3
上下水道料	102.9	105.7	2.7



(4) 家具・家事用品

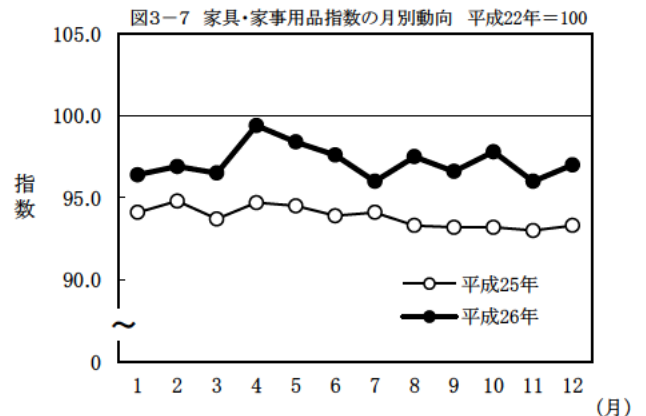
家具・家事用品は97.2となり、前年に比べ3.6%の上昇でした。

内訳をみると、家庭用耐久財が4.9%の上昇、室内装備品が0.2%の上昇、寝具類が7.7%の上昇、家事雑貨が4.6%の上昇、家事用消耗品が1.6%の上昇、家事サービスは2.1%の上昇でした。

表4-4 家具・家事用品の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成25年平均	平成26年平均	
家具・家事用品	93.8	97.2	3.6
家庭用耐久財	78.3	82.1	4.9
室内装備品	88.6	88.8	0.2
寝具類	106.0	114.1	7.7
家事雑貨	111.3	116.4	4.6
家事用消耗品	98.0	99.6	1.6
家事サービス	100.9	103.1	2.1



(5) 被服及び履物

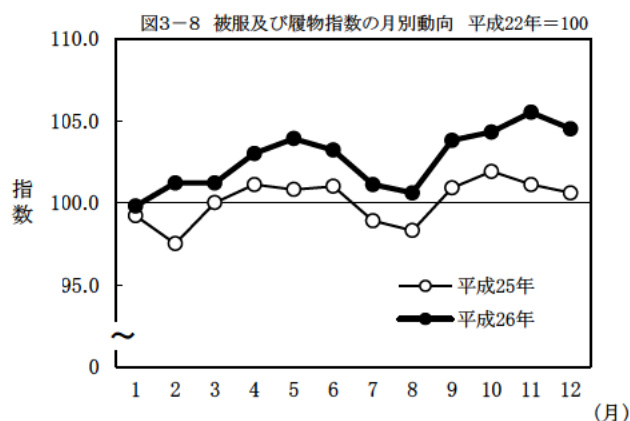
被服及び履物は102.7となり、前年に比べ2.6%の上昇でした。

内訳をみると、衣料が3.1%の上昇、シャツ・セーター・下着類が1.9%の上昇、履物類が2.0%の上昇、他の被服類が5.8%の上昇、被服関連サービスが0.7%の下落でした。

表4-5 被服及び履物の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成25年平均	平成26年平均	
被服及び履物	100.1	102.7	2.6
衣料	97.8	100.8	3.1
シャツ・セーター・下着類	104.7	106.7	1.9
履物類	103.5	105.6	2.0
他の被服類	92.4	97.8	5.8
被服関連サービス	100.5	99.7	-0.7



(6) 保健医療

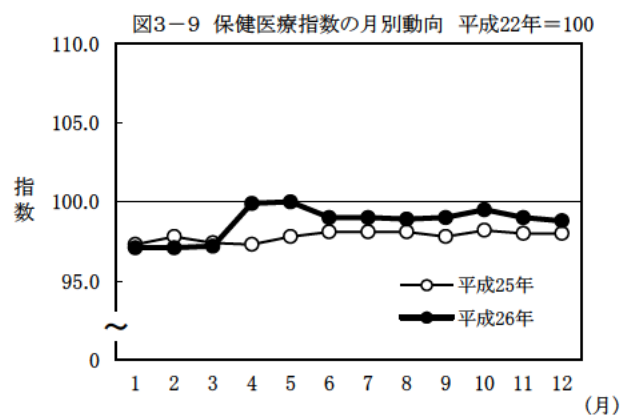
保健医療は98.7となり、前年に比べ0.9%の上昇でした。

内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品が2.8%の上昇、保健医療用品・器具が2.2%の下落、保健医療サービスが0.7%の上昇でした。

表4-6 保健医療の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成25年平均	平成26年平均	
保健医療	97.8	98.7	0.9
医薬品・健康保持用摂取品	95.4	98.1	2.8
保健医療用品・器具	96.3	94.2	-2.2
保健医療サービス	100.3	101.1	0.7



(7) 交通・通信

交通・通信は106.3となり、前年に比べ2.7%の上昇でした。

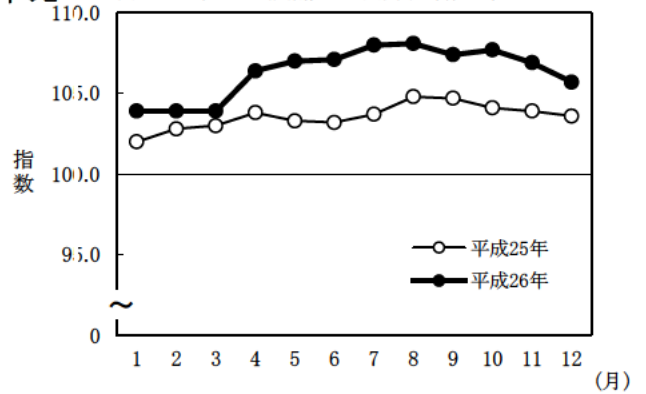
内訳をみると、交通が7.4%の上昇、自動車等関係費が2.5%の上昇、通信が1.1%の上昇でした。

表4-7 交通・通信の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成25年平均	平成26年平均	
交通・通信	103.6	106.3	2.7
交通	101.3	108.8	7.4
自動車等関係費	106.0	108.7	2.5
通信	98.2	99.3	1.1

図3-10 交通・通信指数の月別動向 平成22年=100



(8) 教育

教育は96.8となり、前年に比べ1.2%の上昇でした。

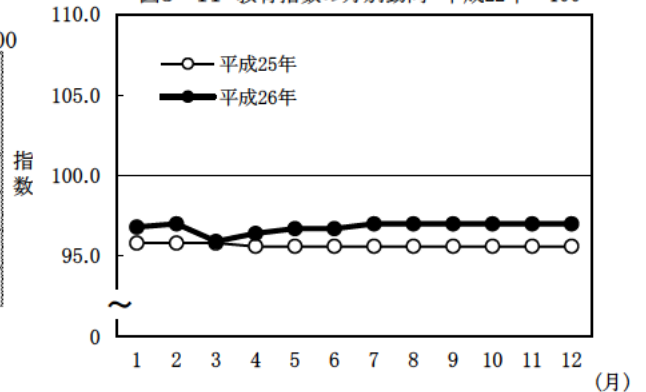
内訳をみると、授業料等が0.5%の上昇、教科書・学習参考教材が2.2%の上昇、補習教育は2.6%の上昇でした。

表4-8 教育の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成25年平均	平成26年平均	
教育	95.7	96.8	1.2
授業料等	93.3	93.8	0.5
教科書・学習参考教材	105.2	107.5	2.2
補習教育	100.7	103.3	2.6

図3-11 教育指数の月別動向 平成22年=100



(9) 教養娯楽

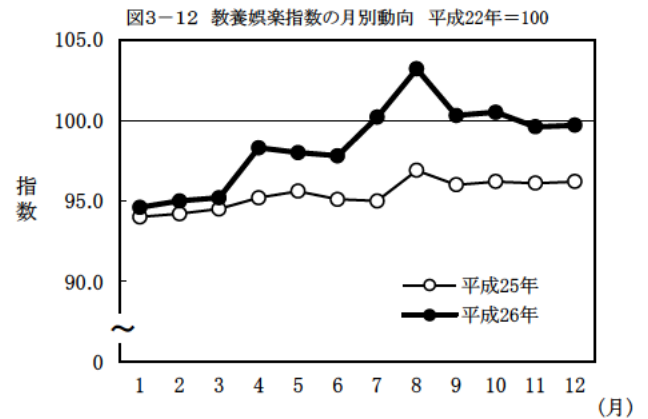
教養娯楽は 98.5 となり、前年に比べ 3.3%の上昇でした。

内訳をみると、教養娯楽用耐久財が 4.5%の上昇、教養娯楽用品が 4.2%の上昇、書籍・他の印刷物が 2.4%の上昇、教養娯楽サービスが 2.9%の上昇でした。

表 4 - 9 教養娯楽の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成25年平均	平成26年平均	
教養娯楽	95.4	98.5	3.3
教養娯楽用耐久財	68.0	71.1	4.5
教養娯楽用品	97.5	101.6	4.2
書籍・他の印刷物	100.9	103.3	2.4
教養娯楽サービス	100.3	103.3	2.9



(10) 諸雑費

諸雑費は 107.9 となり、前年に比べ 3.1%の上昇でした。

内訳をみると、理美容サービスが 1.5%の上昇、理美容用品が 1.2%の上昇、身の回り用品が 5.4%の上昇、たばこが 3.2%の上昇、他の諸雑費（傷害保険料等）が 5.1%の上昇でした。

表 4 - 10 諸雑費の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成25年平均	平成26年平均	
諸雑費	104.6	107.9	3.1
理美容サービス	100.1	101.6	1.5
理美容用品	98.2	99.3	1.2
身の回り用品	104.2	109.8	5.4
たばこ	126.2	130.3	3.2
他の諸雑費	107.2	112.6	5.1

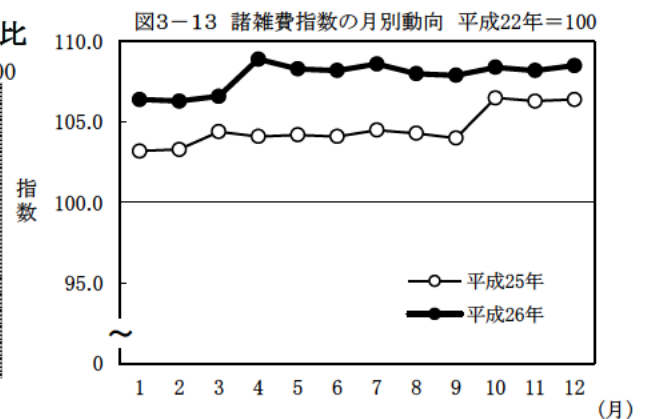
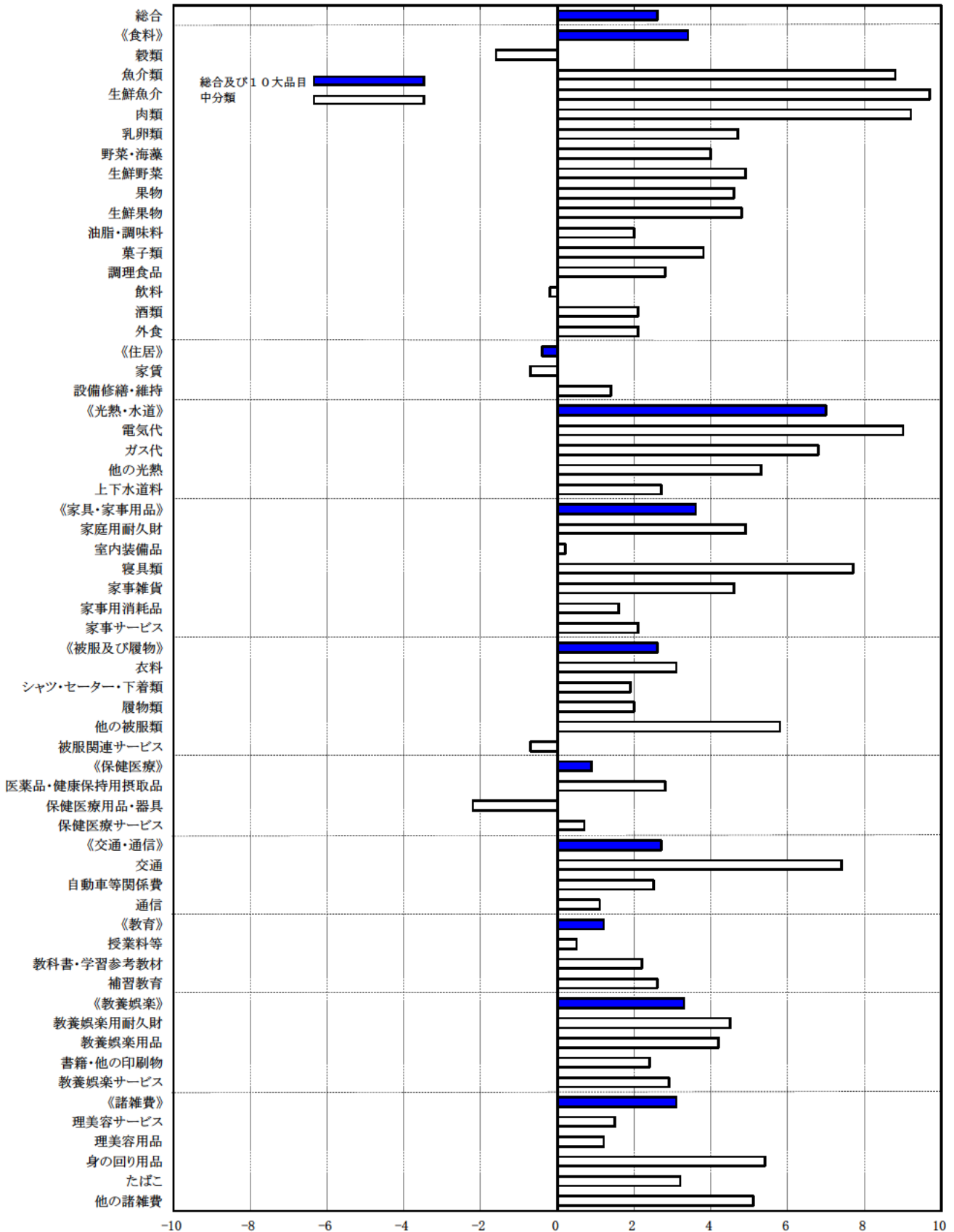


図4 費目別対前年比 (%)

平成 22 年 = 100



※ 二重括弧は10大費目を示しています。

4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とは、その費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率とは、総合の上昇率に占める各費目の寄与度（上昇率の割合）を100分比（各費目の寄与度（上昇率の割合）÷総合の上昇率×100）で表すものです。

平成26年三重県消費者物価指数の総合指数に影響を及ぼした寄与度を主な中分類別費目でみると、物価を押し上げる方向に働いた費目として、電気代（0.33）、自動車等関係費（0.26）や、肉類（0.20）などが挙げられます。一方、物価を引き下げる方向に働いた費目としては、家賃（-0.12）、穀類（-0.04）、保健医療用品・器具（-0.02）のみです。各費目の合計の結果、全体の寄与度は2.58となりました。

（表5、図5）

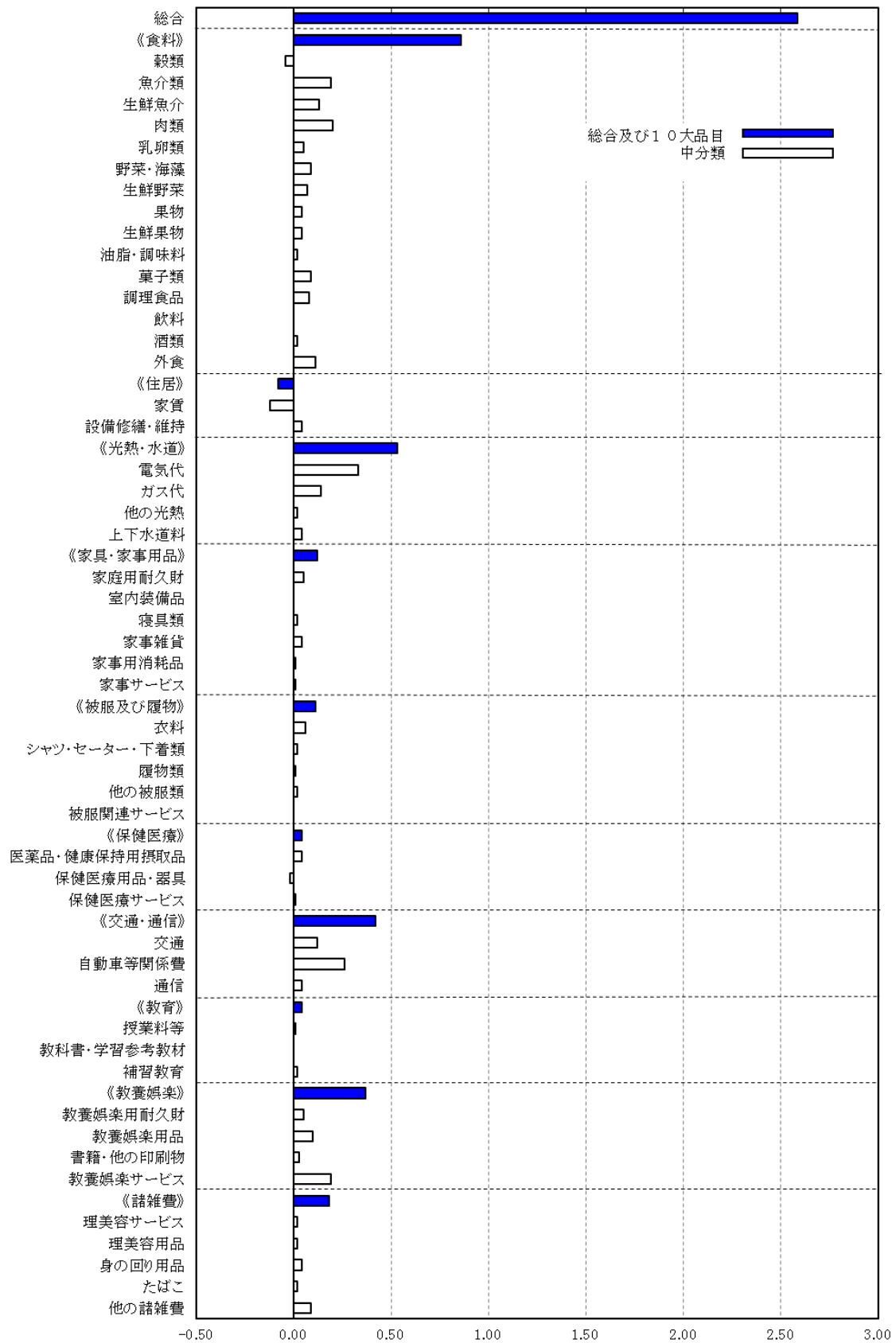
表5 中分類寄与度・寄与率

指数：平成22年平均＝100

	指 数		寄与度	寄与率(%)
	平成25年 平均	平成26年 平均	平成26年 平均	平成26年 平均
総 合	100.6	103.2	2.58	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	100.8	104.0	2.65	102.7
食 料	101.0	104.4	0.86	33.4
穀 類	101.8	100.2	-0.04	-1.4
魚 介 類	102.9	111.9	0.19	7.4
生 鮮 魚 介	103.0	113.0	0.13	4.9
肉 類	106.0	115.7	0.20	7.9
乳 卵 類	102.4	107.2	0.05	2.0
野 菜 ・ 海 藻	98.1	102.0	0.09	3.6
生 鮮 野 菜	94.7	99.3	0.07	2.7
果 物	100.2	104.9	0.04	1.6
生 鮮 果 物	100.2	105.0	0.04	1.6
油 脂 ・ 調 味 料	99.0	101.0	0.02	0.8
菓 子 類	100.7	104.5	0.09	3.4
調 理 食 品	104.6	107.6	0.08	3.1
飲 料	99.1	98.9	0.00	-0.1
酒 類	96.3	98.3	0.02	0.8
外 食	99.3	101.3	0.11	4.4
住 居	99.3	98.9	-0.08	-3.0
持家の帰属家賃を除く住居	98.8	98.9	0.00	0.1
家 賃	99.3	98.7	-0.12	-4.5
持家の帰属家賃を除く家賃	98.2	96.4	-0.03	-1.3
設 備 修 繕 ・ 維 持	99.4	100.8	0.04	1.4
光 熱 ・ 水 道	110.0	117.7	0.53	20.7
電 気 代	112.7	122.8	0.33	12.8
ガ ス 代	107.2	114.5	0.14	5.4
他 の 光 熱	131.4	138.4	0.02	0.9
上 下 水 道 料	102.9	105.7	0.04	1.5
家 具 ・ 家 事 用 品	93.8	97.2	0.12	4.5
家 庭 用 耐 久 財	78.3	82.1	0.05	1.8
室 内 装 備 品	88.6	88.8	0.00	0.0
寝 具 類	106.0	114.1	0.02	0.8
家 事 雑 貨	111.3	116.4	0.04	1.4
家 事 用 消 耗 品	98.0	99.6	0.01	0.4
家 事 サ ー ビ ス	100.9	103.1	0.01	0.3
被 服 及 び 履 物	100.1	102.7	0.11	4.2
衣 料	97.8	100.8	0.06	2.3
シャツ・セーター・下着類	104.7	106.7	0.02	0.9
履 物 類	103.5	105.6	0.01	0.4
他 の 被 服 類	92.4	97.8	0.02	0.7
被 服 関 連 サ ー ビ ス	100.5	99.7	0.00	-0.1
保 健 医 療	97.8	98.7	0.04	1.4
医 薬 品 ・ 健 康 保 持 用 撰 取 品	95.4	98.1	0.04	1.4
保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	96.3	94.2	-0.02	-0.6
保 健 医 療 サ ー ビ ス	100.3	101.1	0.01	0.6
交 通 ・ 通 信	103.6	106.3	0.42	16.3
交 通	101.3	108.8	0.12	4.5
自 動 車 等 関 係 費	106.0	108.7	0.26	10.2
通 信	98.2	99.3	0.04	1.5
教 育	95.7	96.8	0.04	1.4
授 業 料 等	93.3	93.8	0.01	0.4
教 科 書 ・ 学 習 参 考 教 材	105.2	107.5	0.00	0.1
補 習 教 育	100.7	103.3	0.02	0.8
教 養 娛 楽	95.4	98.5	0.37	14.5
教 養 娛 楽 用 耐 久 財	68.0	71.1	0.05	1.9
教 養 娛 楽 用 品	97.5	101.6	0.10	3.8
書 籍 ・ 他 の 印 刷 物	100.9	103.3	0.03	1.3
教 養 娛 楽 サ ー ビ ス	100.3	103.3	0.19	7.5
諸 雑 費	104.6	107.9	0.18	6.8
理 美 容 サ ー ビ ス	100.1	101.6	0.02	0.7
理 美 容 用 品	98.2	99.3	0.02	0.6
身 の 回 り 用 品	104.2	109.8	0.04	1.4
た の ば こ	126.2	130.3	0.02	0.8
他 の 諸 雑 費	107.2	112.6	0.09	3.4

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

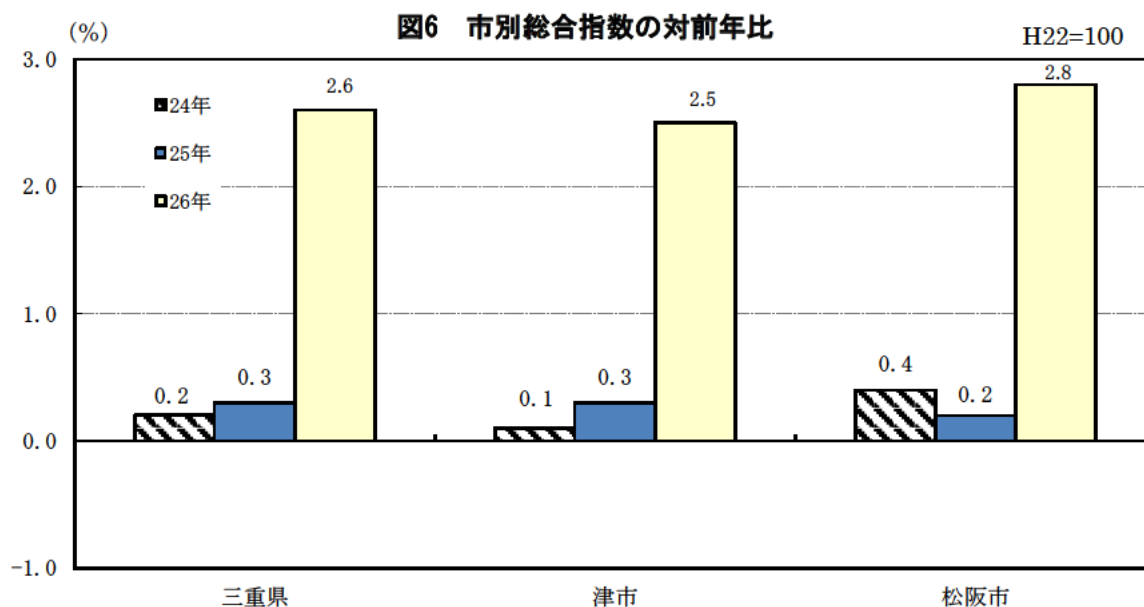
図 5 消費者物価指数の対前年比に対する寄与度



※ 二重括弧は10大費目を示しています。

5 各市の動き

県内2市の消費者物価指数の動きを対前年比でみると、津市で2.5%、松阪市で2.8%の上昇でした。(図6、表6)



*時系列での変動を比較するため、平成11年以降の旧合併特例法による合併前の旧市地域での調査としています。

(内訳)

2市ともに食料、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教育、教養娯楽、諸雑費が上昇し、住居のみが下落しました。

津市・松阪市ともに、光熱・水道がそれぞれ、6.7%、8.5%の上昇で10大品目中最大の上昇幅となっており、下落したものは住居のみで、ともに0.2%の下落でした。

表6 都市別10大費目別対前年比

(単位：%)

	総 合	除 持 家 の 帰 属 家 賃 を 合 を	食 料	住 居	光 熱 ・ 水 道	家 具 ・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
津市	2.5	3.1	3.1	-0.2	6.7	3.8	2.9	0.6	2.6	1.0	3.5	3.2
松阪市	2.8	3.3	3.7	-0.2	8.5	2.6	3.6	1.5	2.6	2.5	3.1	2.0